

地方銀行 2018 年度中間決算の概要

【要 旨】

計数は、特にことわりがない限り地方銀行 64 行の単体ベース。
()、[]内は、前年同期比。前年の計数は本年5月の東京都市
民銀行、八千代銀行、新銀行東京の合併に伴う遡及調整を行って
いない(11 頁を除く)。

1 . 損益 ...図表 1 参照

コア業務純益

資金利益が前年同期とほぼ同水準、役務取引等利益が増加し、コア業務純益は前
年同期比 +3.6% (+194 億円) の 5,553 億円。

業務純益

コア業務純益が増加したものの、国債等債券関係損益の損超幅の拡大に加え、一
般貸倒引当金繰入額が繰入超に転じたことから、業務純益は 7.3% (387 億円)
の 4,929 億円。

経常利益

業務純益の減少に加え、不良債権処理額の増加により、経常利益は 26.4%
(1,752 億円) の 4,897 億円。

中間純利益

3,361 億円 (30.2% [1,455 億円])

2 . 資産・負債 ...図表 2、3 参照

貸出金 (平残): 201 兆 9,964 億円 (+ 9 兆 2,085 億円 [+4.8%])

有価証券 (平残): 66 兆 7,186 億円 (3 兆 9,330 億円 [5.6%])

預金 (平残): 263 兆 428 億円 (+ 7 兆 8,578 億円 [+3.1%])

3 . 自己資本比率 (国際統一基準行は連結、国内基準行は単体) ...図表 4 参照

国際統一基準行 (10 行): 14.72% (+0.07%ポイント)

国内基準行 (54 行): 9.73% (0.30%ポイント)

4 . 不良債権額 ...図表 5 参照

金融再生法開示債権額: 3 兆 5,677 億円 (+1,212 億円 [+3.5%])

< 付表 > 時系列データ

1. 損益

【図表1】損益

(単位:億円、%)

	2018年 / 中			2017年 / 中
		増減額	増減率	
業務純益	4,929	387	7.3	5,316
コア業務純益	5,553	194	3.6	5,359
コア業務粗利益	16,949	73	0.4	16,875
資金利益	14,720	10	0.1	14,710
資金運用収益	16,202	194	1.2	16,007
貸出金利息	11,291	115	1.0	11,176
有価証券利息配当金	4,542	0	0.0	4,541
資金調達費用	1,482	184	14.2	1,298
役務取引等利益	2,212	84	4.0	2,128
その他業務利益	16	20	55.7	37
経費	11,395	120	1.0	11,516
人件費	5,721	55	1.0	5,777
物件費	4,867	37	0.8	4,905
税金(消費税、印紙税等)	806	27	3.2	833
国債等債券関係損益	332	272	450.2	60
一般貸倒引当金繰入額	291	308	-	17
臨時損益	31	1,365	-	1,334
不良債権処理額	1,529	1,198	362.2	330
個別貸倒引当金繰入額	1,225	1,050	599.1	175
貸出金償却	228	119	109.6	109
株式等関係損益	1,169	1	0.1	1,168
貸倒引当金戻入益	160	254	61.3	415
償却債権取立益	83	10	11.7	94
その他臨時損益	84	96	-	12
経常利益	4,897	1,752	26.4	6,650
特別損益	168	174	-	6
法人税等	1,703	122	6.7	1,826
中間純利益	3,361	1,455	30.2	4,817
信用コスト (+ + +)	1,576	1,772	-	195

(注1) は、利益に対して減少要因となった計数を表す(増減額・率も同様)

(注2) 増減額は単位未満切り捨て、増減率は単位未満四捨五入(以下同様)

(注3) 貸出金利息 = 貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料

(注4) その他業務利益: 特定取引(トレーディング業務)利益を含み、国債等債券関係損益を除く。

(注5) 国債等債券関係損益: 国債等債券売却益、同償還益、同売却損() 同償還損() 同償却()

(注6) 株式等関係損益: 株式等売却益、同売却損() 同償却()

(注7) その他臨時損益: 金銭の信託運用損益、退職給付費用(臨時費用処理分)() 等

(注8) 「2017年/中」は東京都民銀行の、「2018年/中」はきらぼし銀行の計数を用いて地銀計を算出(以下同じ)。3行合算ベースでの主な計数の前中間期との比較は11頁参照。

(参考1) 2019年3月期通期業績予想

(単位:億円、%)

	2019年3月期 通期業績予想(63行計)	2018年3月期実績比(62行)			
		増減額	増減率	増益	減益
経常利益	9,332	1,572	14.5	18行	44行
当期純利益	6,324	1,445	18.7	21行	41行

(注) 「通期業績予想」は、通期業績予想を公表していない銀行(1行)を除く。「2018年3月期実績比」は、通期業績予想を公表していない銀行と、2018年3月期との比較ができないきらぼし銀行を除く。

(参考2) 個別行の決算状況

(単位:行)

	年度	2013		2014		2015		2016		2017		2018
		中	通	中	通	中	通	中	通	中	通	中
経常利益	黒字	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	63
	うち増益	56	55	36	51	51	38	10	4	28	33	21
	うち減益	8	9	28	13	13	26	54	60	36	31	41
	赤字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
純利益	黒字	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	63
	うち増益	58	53	40	48	50	52	17	12	31	29	20
	うち減益	6	11	24	16	14	12	47	52	33	35	42
	赤字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(注) 2018年度中間期は、きらぼし銀行が2017年度中間期との比較(増減益の算定)ができないため、黒字行数と増益行・減益行の合計が一致しない。

(参考3) 主要利回り(全店分、括弧は国内業務部門)

(単位:%)

	2018年/中		増減		2017年/中	
貸出金利回 (a)	1.11	(1.07)	0.04	(0.06)	1.15	(1.13)
有価証券利回	1.35	(1.21)	0.07	(0.05)	1.28	(1.16)
資金運用利回 (b)	1.11	(1.01)	0.02	(0.04)	1.13	(1.05)
預金等原価 (c)	0.86	(0.83)	0.03	(0.04)	0.89	(0.87)
預金等利回	0.04	(0.01)	0.01	(0.01)	0.03	(0.02)
経費率	0.82	(0.82)	0.04	(0.03)	0.86	(0.85)
人件費率	0.41	(0.41)	0.02	(0.01)	0.43	(0.42)
物件費率	0.35	(0.35)	0.01	(0.01)	0.36	(0.36)
資金調達利回 (d)	0.09	(0.02)	0.01	(0.01)	0.08	(0.03)
資金調達原価 (e)	0.84	(0.78)	0.03	(0.05)	0.87	(0.83)
預貸金利鞘 (a) - (c)	0.25	(0.24)	0.01	(0.02)	0.26	(0.26)
資金粗利鞘 (b) - (d)	1.02	(0.99)	0.03	(0.03)	1.05	(1.02)
総資金利鞘 (b) - (e)	0.27	(0.23)	0.01	(0.01)	0.26	(0.22)

(注1) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金 + 債券

(注2) 比率は、小数点第3位以下を切り捨て。

(参考4) 経費

(単位:億円、%)

	2018年/中			2017年/中	
		増減額	増減率		
人件費	5,721	55	1.0	5,777	
給与・報酬	3,276	36	1.1	3,312	
賞与	1,134	1	0.1	1,133	
退職給付費用(勤務費用等)	124	18	13.1	143	
社会保険料等	744	5	0.7	739	
臨時雇用費	450	6	1.5	443	
物件費	4,867	37	0.8	4,905	
有形固定資産償却	553	5	1.0	559	
無形固定資産償却	378	1	0.3	376	
土地建物賃借料	353	0	0.1	353	
機械賃借料	77	3	4.9	74	
保守管理費	455	0	0.1	455	
通信交通費	393	1	0.4	392	
広告宣伝費	147	13	8.2	161	
預金保険料	434	21	4.8	456	
事務委託費等	1,560	21	1.4	1,539	
税金(消費税、印紙税等)	806	27	3.2	833	
経費計	11,395	120	1.0	11,516	

2. 資産・負債

【図表2】資産（平残）

（単位：億円、％）

	2018年 / 中			2017年 / 中	
		増減額	増減率	構成比	
貸出金	2,019,964	92,085	4.8	62.6 (0.5)	1,927,878
商品有価証券	475	8	1.7	0.0 (0.0)	483
有価証券	667,186	39,330	5.6	20.7 (2.1)	706,517
国債	200,857	38,845	16.2	6.2 (1.5)	239,702
地方債	109,101	8,809	8.8	3.4 (0.1)	100,292
短期社債	2,537	1,089	75.2	0.1 (0.0)	1,448
公社公団債	86,470	5,096	5.6	2.7 (0.3)	91,567
金融債	12,511	2,667	17.6	0.4 (0.1)	15,179
事業債	41,043	1,304	3.3	1.3 (0.0)	39,739
株式	32,013	144	0.5	1.0 (0.0)	31,868
外国証券	97,229	13,111	11.9	3.0 (0.5)	110,340
その他の有価証券	85,419	9,042	11.8	2.6 (0.2)	76,377
コールローン等	56,224	8,463	17.7	1.7 (0.2)	47,760
預け金（無利息分を除く）	132,618	6,311	5.0	4.1 (0.0)	126,307
運用勘定計	2,899,128	70,593	2.5	89.9 (1.3)	2,828,535
特定取引資産	2,344	207	9.7	0.1 (0.0)	2,137
繰延税金資産	5,255	254	4.6	0.2 (0.0)	5,509
貸倒引当金 ()	12,484	336	2.6	0.4 (0.0)	12,820
資産計	3,225,886	123,208	4.0	100.0 (0.0)	3,102,677

（注1）特定取引勘定設置行は、12行。

（注2）貸出金 = 貸付金 - 金融機関貸付金 + 割引手形

（注3）コールローン等 = コールローン + 貸付金のうち金融機関貸付金 + 買入手形

（注4）構成比欄の（ ）内の数字は、前年同期比増減。

（参考5）貸出金（末残・国内店）

（単位：億円、％）

	2018年			2017年
	9月末	増減額	増減率	9月末
法人向け	1,200,654	53,721	4.7	1,146,932
うち中小企業向け	858,971	46,174	5.7	812,796
地方公共団体向け	206,519	2,173	1.1	204,346
個人向け	596,036	25,901	4.5	570,134
貸出金合計	2,021,130	83,082	4.3	1,938,048

（注）貸出金合計には、この他に海外円借款、国内店名義現地貸を含み、特別国際金融取引勘定（オフショア勘定）、中央政府向け貸出金を除く。

【図表3】負債（平残）

（単位：億円、％）

	2018年 / 中			2017年 / 中
		増減額	増減率	
預金	2,630,428	78,578	3.1	2,551,850
譲渡性預金	111,539	3,808	3.3	115,347
コールマネー等	68,918	21,180	44.4	47,738
借入金	106,387	13,064	14.0	93,322
社債	2,724	376	12.1	3,100
調達勘定計	3,031,929	114,780	3.9	2,917,149
特定取引負債	47	22	32.2	69
負債計	3,071,193	116,418	3.9	2,954,775

（注1）コールマネー等 = コールマネー + 借入金のうち金融機関借入金 + 売渡手形

（注2）借入金は、金融機関借入金を除く。

（参考6）預金（末残・国内店）

（単位：億円、％）

	2018年			2017年
	9月末	増減額	増減率	
一般法人預金	641,769	21,160	3.4	620,608
要求払預金	470,863	22,013	4.9	448,849
定期性預金	158,341	2,497	1.6	160,839
個人預金	1,855,107	51,035	2.8	1,804,071
要求払預金	1,101,503	71,558	6.9	1,029,944
定期性預金	746,439	20,669	2.7	767,109
公金預金	112,072	7,230	6.9	104,841
要求払預金	70,295	7,881	12.6	62,414
定期性預金	39,540	186	0.5	39,727
預金合計	2,630,945	83,863	3.3	2,547,082
要求払預金	1,652,781	102,857	6.6	1,549,924
定期性預金	949,145	23,150	2.4	972,296

（注1）特別国際金融取引勘定（オフショア勘定）の預金は含まない。

（注2）要求払預金 = 普通預金 + 当座預金 + 貯蓄預金 + 通知預金 + 別段預金 + 納税準備預金
定期性預金 = 定期預金 + 据置貯金 + 定期積金

（注3）各預金者別の計には、要求払預金、定期性預金のほか、外貨預金、非居住者円預金を含む。

（注4）預金合計には、一般法人預金、個人預金、公金預金のほか、金融機関預金を含む。

（参考7）純資産（末残）

（単位：億円、％）

	2018年			2017年
	9月末	増減額	増減率	
株主資本合計	150,914	5,655	3.9	145,259
資本金	25,968	69	0.3	26,037
資本剰余金	17,280	1,458	9.2	15,821
利益剰余金	109,470	4,075	3.9	105,395
評価・換算差額等合計	38,350	167	0.4	38,517
その他有価証券評価差額金	34,410	462	1.3	34,873
純資産計	189,333	5,487	3.0	183,845

3. 経営諸比率等

【図表4】自己資本比率

(単位: %)

		2018年		2017年 9月末	
		9月末	増減		
国際統一基準	採用行	10行		10行	
	連結		14.72	0.07	14.65
		Tier1	14.32	0.33	13.99
	単体		14.29	0.02	14.31
Tier1		13.92	0.23	13.69	
国内基準	採用行	54行		54行	
	連結	10.06	0.40	10.46	
	単体	9.73	0.30	10.03	

(注1) 2018年9月末は、速報値。

(注2) 比率は、小数点第3位以下を切り捨て。

(注3) 国際統一基準行は、群馬銀行、千葉銀行、横浜銀行、八十二銀行、北國銀行、静岡銀行、滋賀銀行、中国銀行、山口銀行、伊予銀行。

(注4) 連結は、連結決算状況表を作成していない銀行(国際統一基準：1行、国内基準：5行)を除く。

(参考8) 経営諸比率

(単位: %)

	2018年 / 中		2017年 / 中
		増減	
総資産コア業務純益率(ROA)	0.34	0.00	0.34
株主資本コア業務純益率(ROE)	7.37	0.08	7.45
コア業務粗利益経費率(OHR)	67.23	1.01	68.24

(注1) コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券関係損益(5勘定戻)

(注2) 総資産コア業務純益率(ROA) = コア業務純益 / (総資産計平残 - 支払承諾見返平残)

(注3) 株主資本コア業務純益率(ROE) = コア業務純益 / 株主資本合計平残

(注4) コア業務粗利益経費率(OHR) = 経費 / コア業務粗利益

(注5) 比率は、小数点第3位以下を切り捨て。

(参考9) 職員数・店舗数

	2018年			2017年 9月末
	9月末	増減数	増減率(%)	
職員数 (人)	127,811	227	0.2	128,038
店舗数 (店)	7,592	87	1.2	7,505

(注1) 職員数は、執行役員(除く取締役兼務者)を含み、臨時雇員、嘱託、出向職員を除く。

(注2) 店舗数は、出張所を含む。

4. 不良債権額

【図表5】金融再生法開示債権額

(単位: 億円、%)

	2018年			2017年 9月末
	9月末	増減額	増減率	
破産更生債権	6,033	419	7.5	5,614
危険債権	22,538	224	1.0	22,313
要管理債権	7,104	568	8.7	6,536
合計	35,677 (1.71)	1,212	3.5	34,464 (1.73)

(注1)()内は、総与信額に対する金融再生法開示債権額の比率。

(注2) 信託勘定分を含む。

(注3) 破産更生債権は、これに準ずる債権を含む。

(注4) 総与信額に対する金融再生法開示債権額の比率の1999年度以降の既往ピークは、2002年3月末の7.68%。

(参考10) リスク管理債権額

(単位: 億円、%)

	2018年			2017年 9月末
	9月末	増減額	増減率	
破綻先債権額	1,185	97	8.9	1,088
延滞債権額	27,105	503	1.9	26,602
3か月以上延滞債権額	284	14	5.3	269
貸出条件緩和債権額	6,820	556	8.9	6,263
合計	35,397 (1.72)	1,172	3.4	34,225 (1.74)

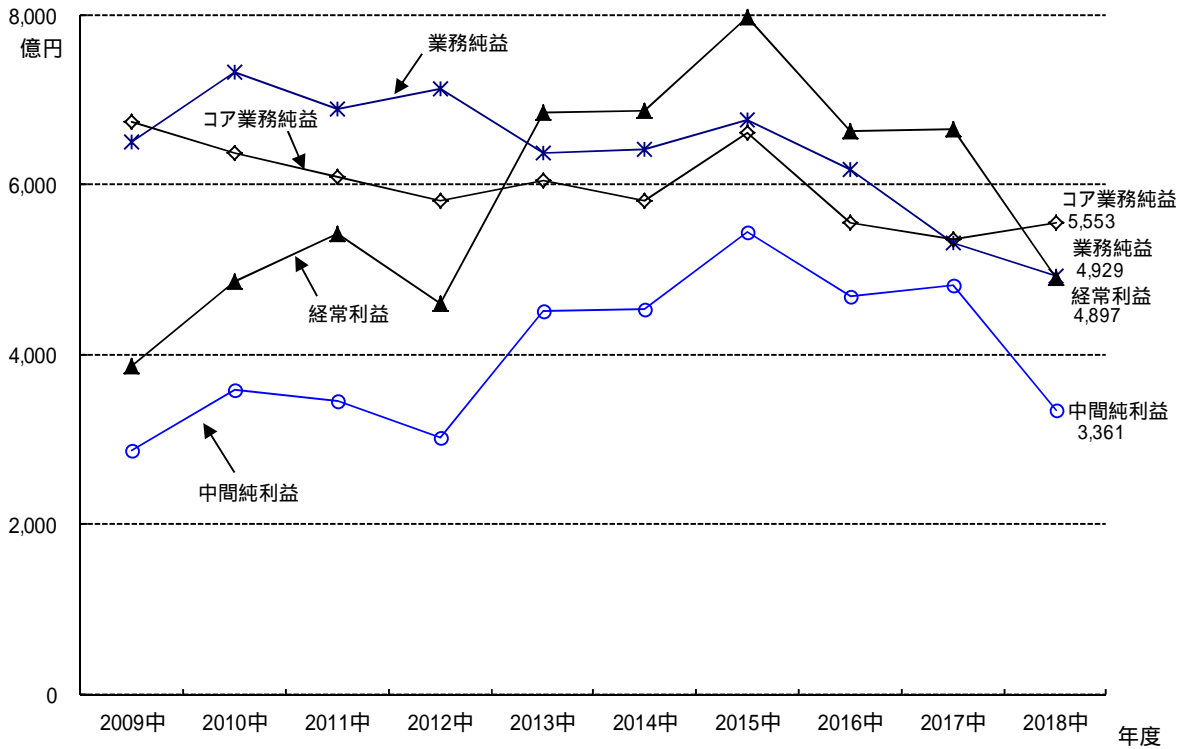
(注1)()内は、貸出金総額に対するリスク管理債権額の比率。

(注2) 信託勘定分を含む。

(注3) 貸出金総額に対するリスク管理債権額の比率の1997年度以降の既往ピークは、2002年3月末および2003年3月末の7.69%。

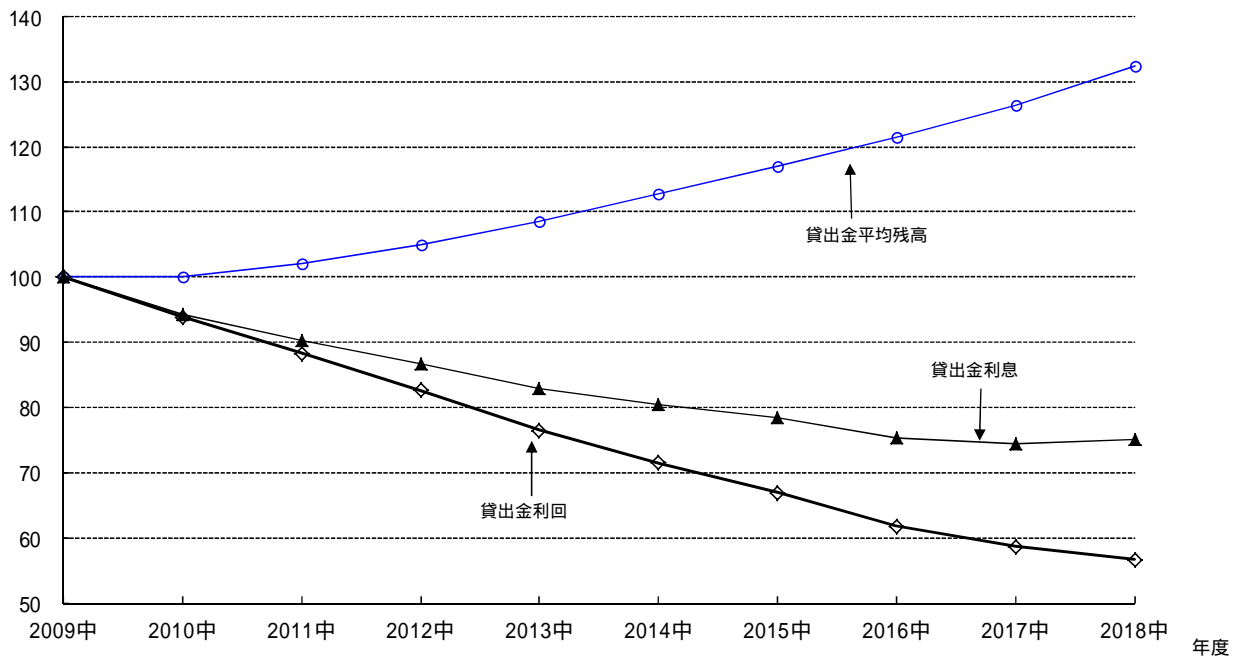
<付表> 時系列データ

業務純益、コア業務純益、経常利益、中間純利益



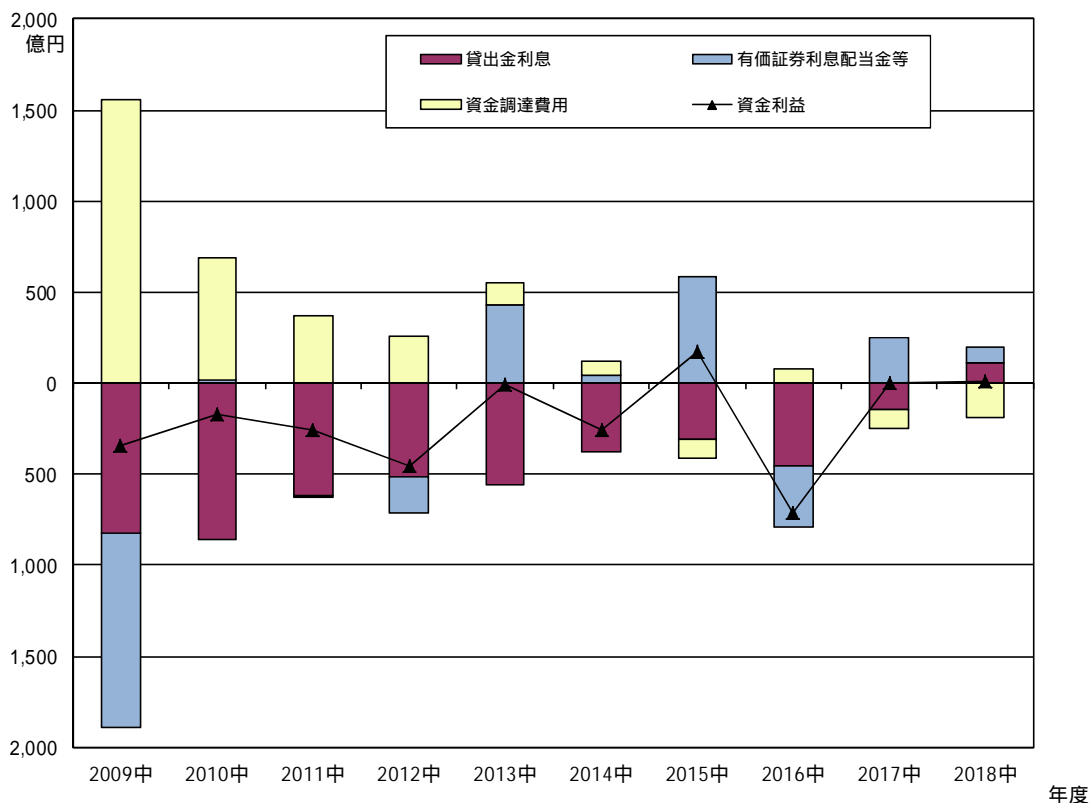
(注) 1985年度以降の既往ピークは、経常利益が7,980億円、中間純利益が5,443億円(ともに2015年度中間期)

貸出金平均残高、貸出金利息、貸出金利回(2009年度中間期を100として指数化)



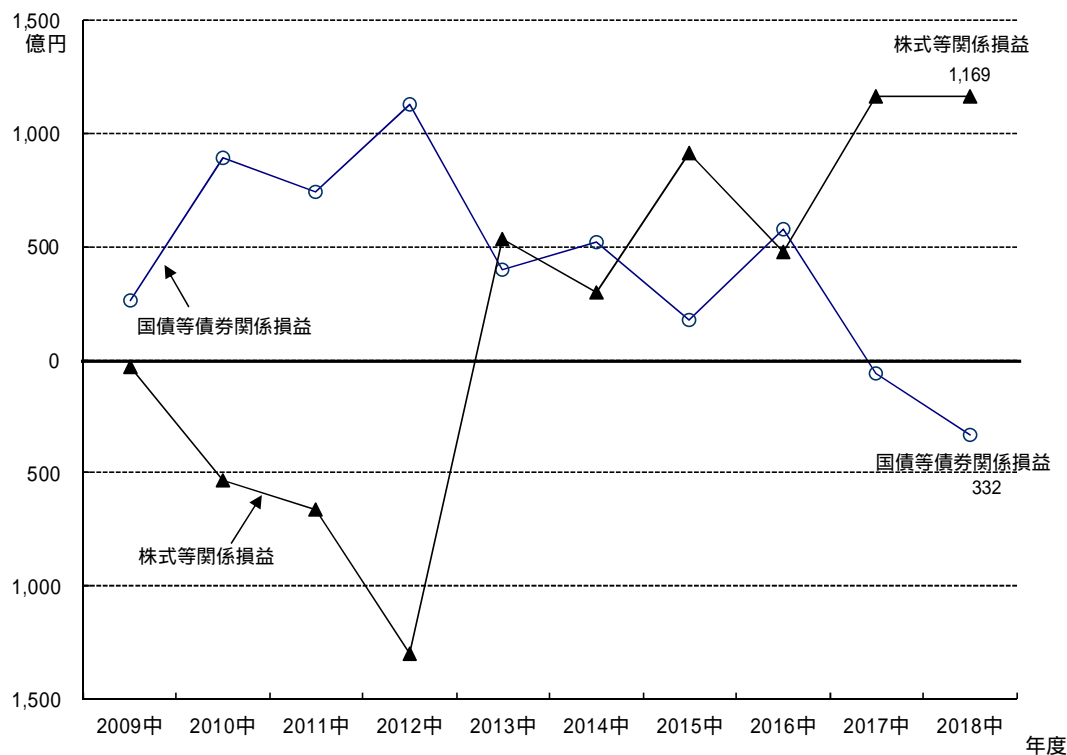
(注) 貸出金 = 貸付金 - 金融機関貸付金 + 割引手形

資金利益の増減に対する貸出金利息等の寄与

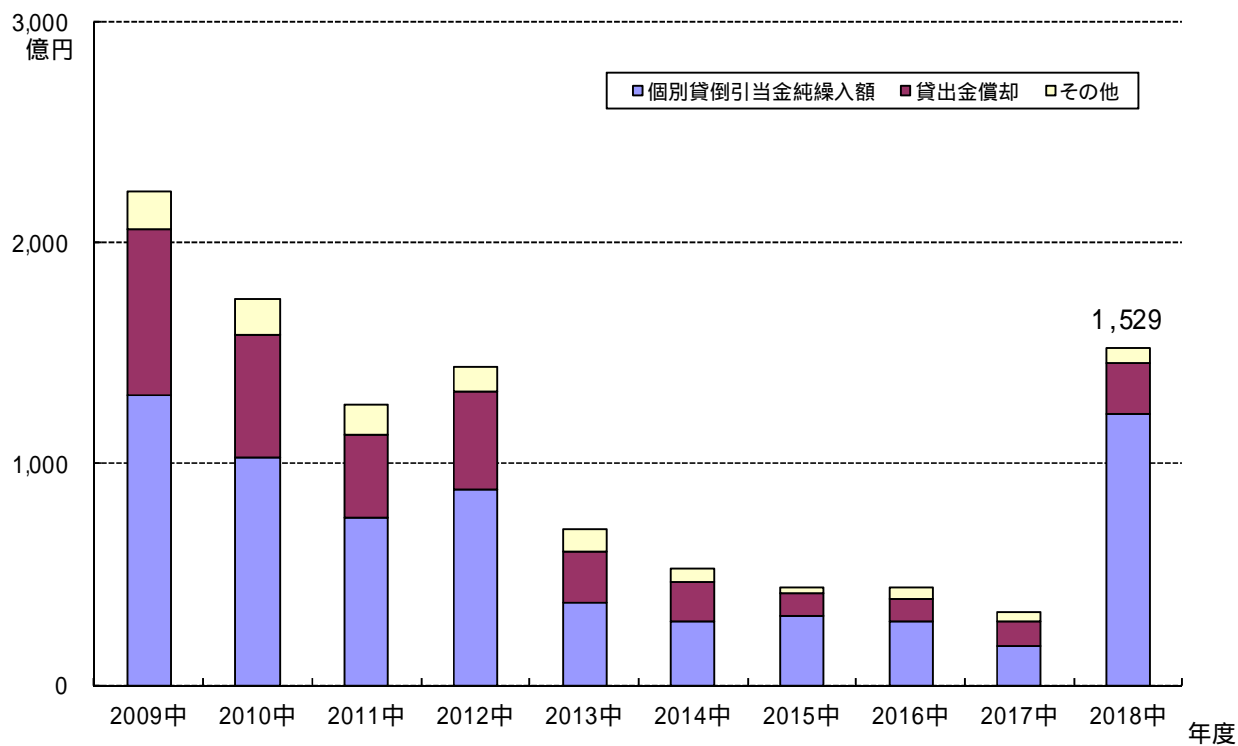


(注) 内訳項目の増減は資金利益の増加に対する寄与を示す(資金調達費用の増加は、資金利益の減益要因として減少表示)。

国債等債券関係損益、株式等関係損益



不良債権処理額



(注) 不良債権処理額の1989年度以降の既往ピークは、2003年度中間期：6,758億円。

(参考)

3行(東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京)合算ベースで補正した場合の比較

損益

- ・「2017年/中」: 東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京の計数を合算した計数を用いて地銀計を算出。
- ・「2018年/中」: 2018年4月の東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京の計数と2018年5月以降のきらぼし銀行の計数を合算した計数を用いて地銀計を算出。

(単位: 億円、%)

	2018年/中			2017年/中
		増減額	増減率	
業務純益	4,932	433	8.1	5,366
コア業務純益	5,556	154	2.9	5,401
資金利益	14,744	128	0.9	14,873
役務取引等利益	2,215	63	2.9	2,152
経費	11,421	240	2.1	11,662
国債等債券関係損益	332	275	482.9	57
経常利益	4,897	1,795	26.8	6,693
中間純利益	3,362	1,493	30.8	4,855

資産・負債

- ・「2017年9月末」: 東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京の計数を合算した計数を用いて地銀計を算出。
- ・「2018年9月末」: きらぼし銀行の計数を用いて地銀計を算出。

(単位: 億円、%)

	2018年9月末			2017年9月末
		増減額	増減率	
貸出金合計(未残・国内店)	2,021,130	65,320	3.3	1,955,810

	2018年9月末			2017年9月末
		増減額	増減率	
預金合計(未残・国内店)	2,630,945	59,524	2.3	2,571,421

	2018年9月末			2017年9月末
		増減額	増減率	
純資産計(未残)	189,333	3,727	2.0	185,605

以上